遠見岳&神路山

福岡県　糟屋郡久山町　　2023年　10月1日

整備された快適な登山道

快適な尾根道に心地良い風が吹く

本日のコース　＜全行程　2時間46分＞

駐車場　10:02　→遠見岳登山口（伊野天照皇大神宮）　10:03　→拝殿　10:08　→神路山への分岐を通過　10:55　→　遠見岳山頂　11:07　＜休憩＞　11:44　→神路山への分岐　11:56　→　神路山山頂　11:59　→　神路山への分岐　12:04　→　遠見岳登山口（伊野天照皇大神宮）　12:45　→　駐車場　12:48

今日から10月に突入。漸く暑さが和らぎ、低山も幾分歩き易くなった。秋ももうすぐそこまでやって来ている。今回は糟屋郡久山町にある遠見岳を歩いてみた。登山口になる伊野天照皇大神宮は御朱印を求める人たちで社務所前に行列ができていた。神宮の境内を通り抜けると登山道になる。急登に喘ぎながらも一歩一歩上った。

駐車場　10:02　スタート

遠見岳登山口(伊野天照皇大神宮)　10:03　（いのてんしょうこうたいじんぐう）

神宮入口に遠見岳登山口の標柱

神宮の境内を通り抜けて登山道へ

★伊野天照皇大神宮★

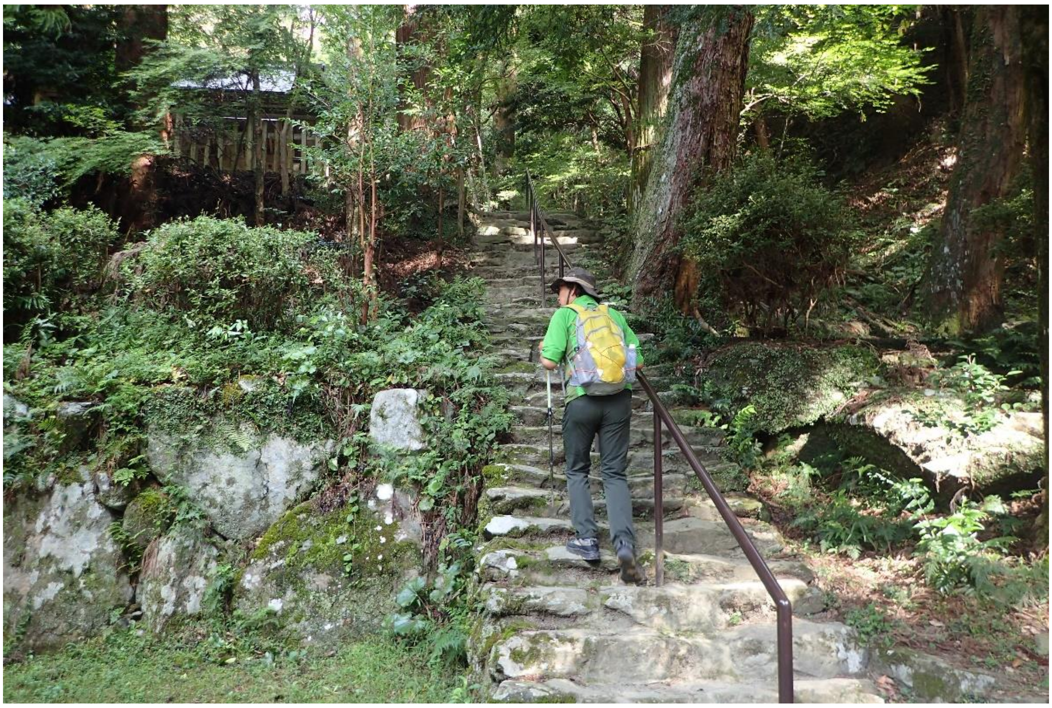
「九州の伊勢」と呼ばれ、神殿や建物の配置も伊勢神宮を模して築造されました。天照大神・手力雄神・萬幡千々姫命を祀る由緒正しいこの神社は、近くを猪野川が流れ、夏には涼を求めて多くの人が訪れます。また毎年春には大祭が催され、剣道や柔道の奉納試合に多くの人が訪れます。境内に生える欅の大木は町指定文化財に指定されており、周囲に自生する紅葉は秋の境内を美しく彩ります。 **（注意）毎月１日と 15 日に社務所が開いています。**

〒811-2503　福岡県糟屋郡久山町猪野 604　　　＜久山町ホームページより＞

拝殿　10:08　登山安全祈願

伊野天照皇大神宮由来記

本殿の裏側にある「古神殿跡」



階段を上っていくと左側に本殿　10:10

本殿の裏側にある「古神殿跡」

古神殿跡は20年毎の式年遷宮での前回の鎮座地です。

現在遷座はありませんが、式年祭が斎行されています。＜ネット調べ＞

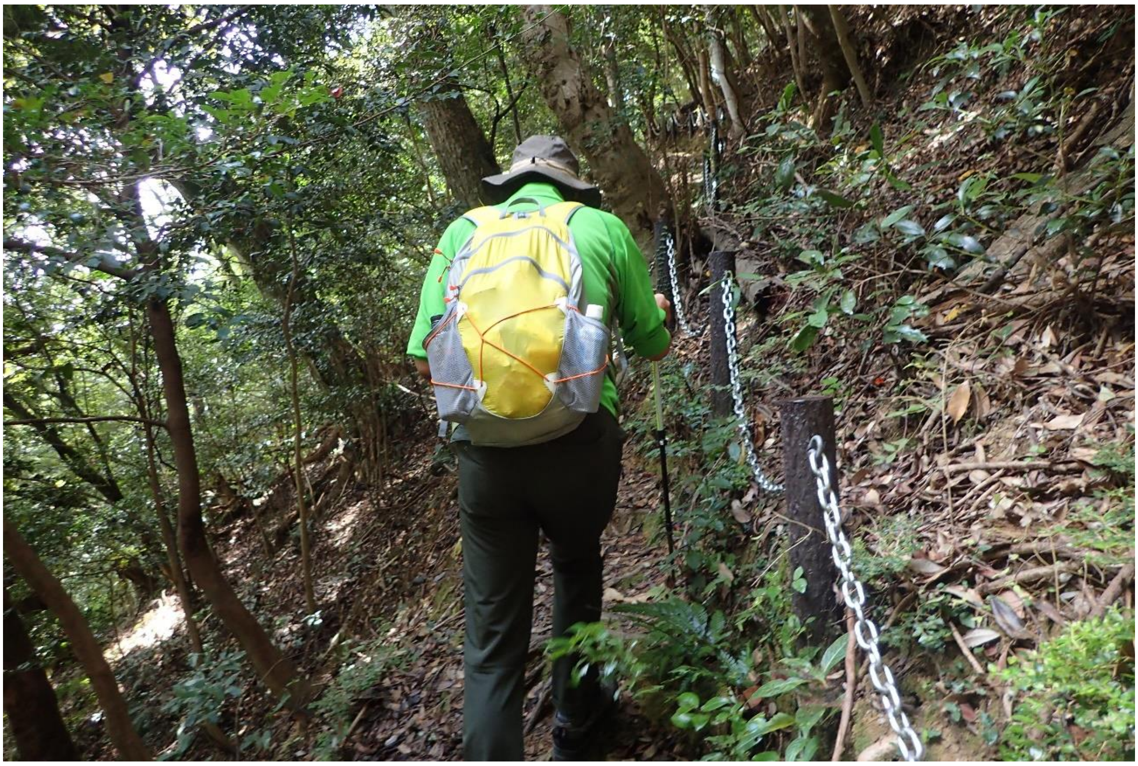
標高323m 天然林の森林浴登山をしよう！

登山を呼びかける標柱

見上げると土留め？　確かに真下は神宮があるので土砂崩れは怖い。
足元を見ると登山者の為の杖が設置されている。

コンクリート谷止工事

平成9年に治山が行われていた



急登に鎖。 10:19　 谷側はかなりの傾斜になっているので要注意。

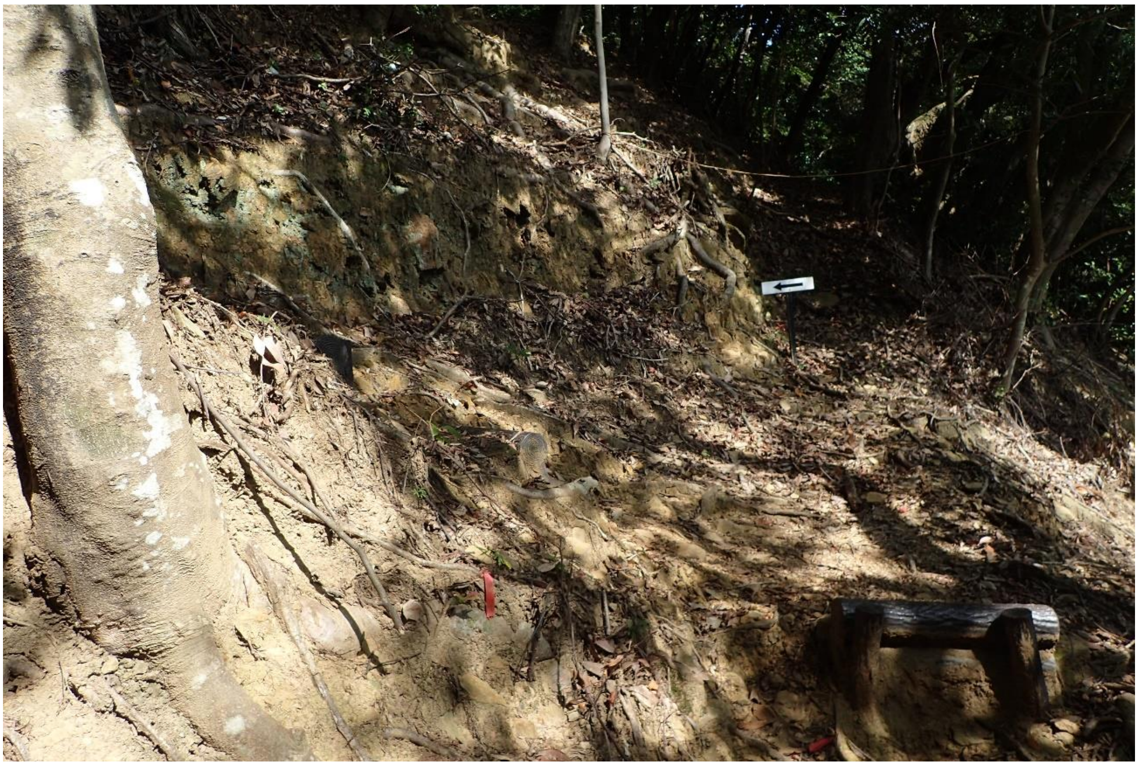
15分ほどで尾根に乗った。 10:22　 一息入れる

尾根に上り詰めると道標が目に留まった。

緩やかな傾斜　 10：23　 林の中を尾根歩き

吹き渡る秋風が背中を押してくれる

登山道は木々の根が蔓延っている　10:24
根に乗らないよう 躓(つまづ)かないように、足の置き場を考えて歩く。



5分程尾根を進むと左へ上ることに　10：27　更に上の尾根へ

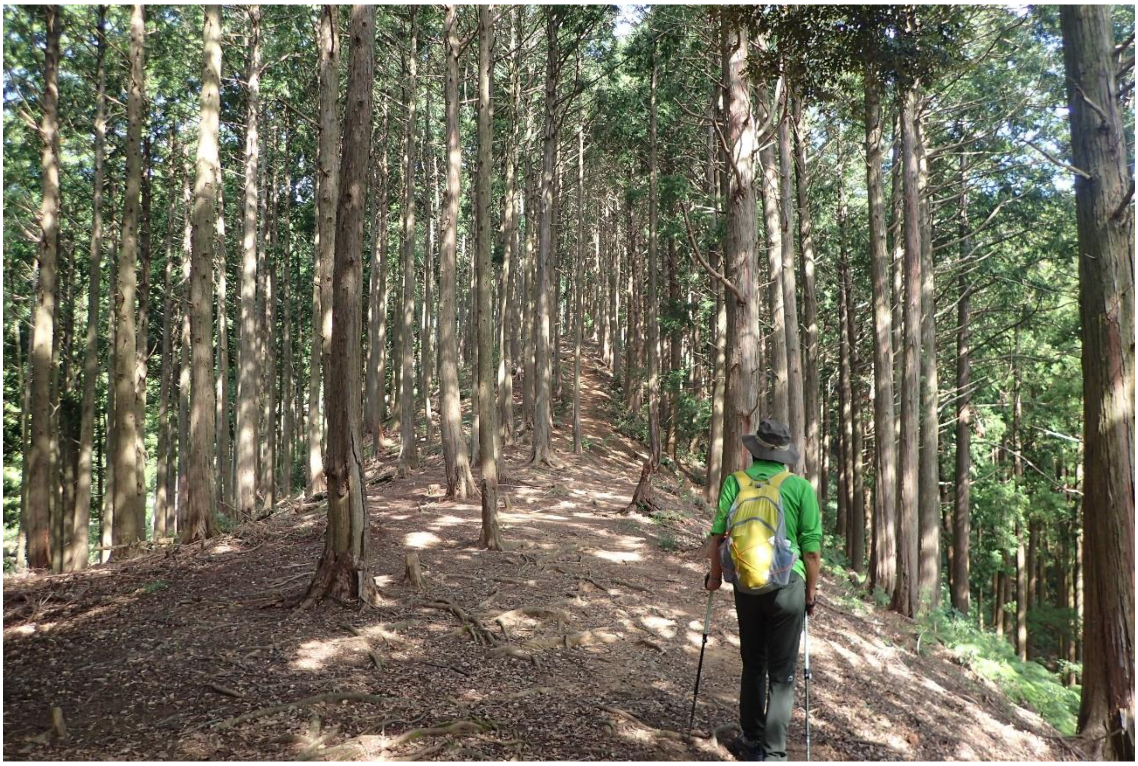
この矢印道標がなければ真っすぐ進んでしまいそうだ

左折後すぐに右に上る　10:28　ルートははっきりしているので大丈夫

また鎖が現れた　10:35　傾斜がきつくなってきた
山陽新幹線の福岡トンネルが通っているのは、この登山道の地下深く辺りだろうか？

鎖が終わると広い尾根に辿り着いた　 10:39　 ここからは楽勝気分

注意看板を通過　 10:44



美しい森の中で森林浴　10:47　整備された登山道は気持ちいい

遠見岳迄　0.3km、徒歩15 分の道標　10:51

あと少し。元気が出る。

神路山(かみじやま)への分岐を右に見て通過　10:55　下山時に寄ってみることにした

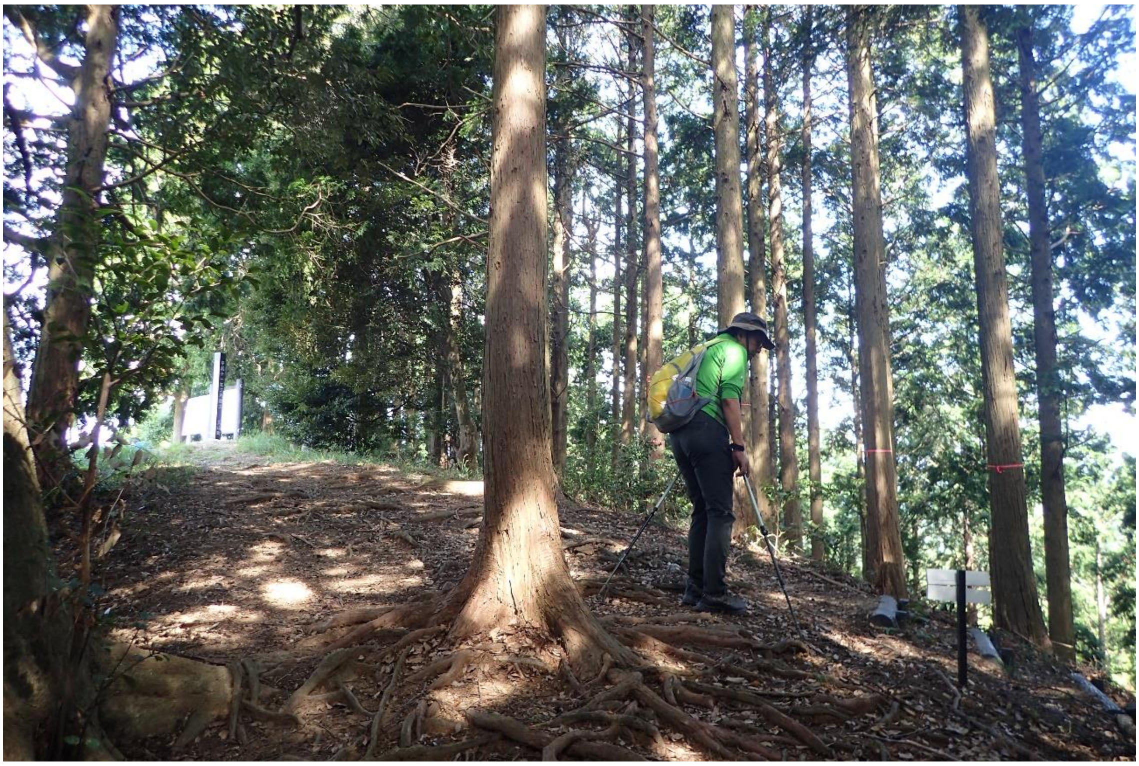
シロオニタケを発見！

シロオニタケは胃腸などの消化器系の中毒症状や神経系の異常をきたす毒をもっている。

カサが開いた状態のシロオニタケ

シロオニタケはカサの直径が 9～20cm ほどの大きさのキノコで、カサの表面は真っ白で微粉に覆われていて、角錐形の尖ったイボが全体についています。シロオニタケは幼い時は、ほぼカサの前面にこのイボが見られ、幼菌時は丸い形をしていますがだんだんカサが開いていき最終的には円盤状の平らな形のキノコになります。　　　　　　　＜ネット調べ＞

門構えのような木の間を通り抜けると山頂が見えた　11:06



山頂が見えたと思ったら右手に下る分岐があった　11:06

猪野ダムへの分岐を通過　 11:06

猪野ダムに通じる登山道もあることがわかった

遠見岳山頂　11:07　仲哀天皇神功皇后異国冒険の地
先着家族がランチ中だった

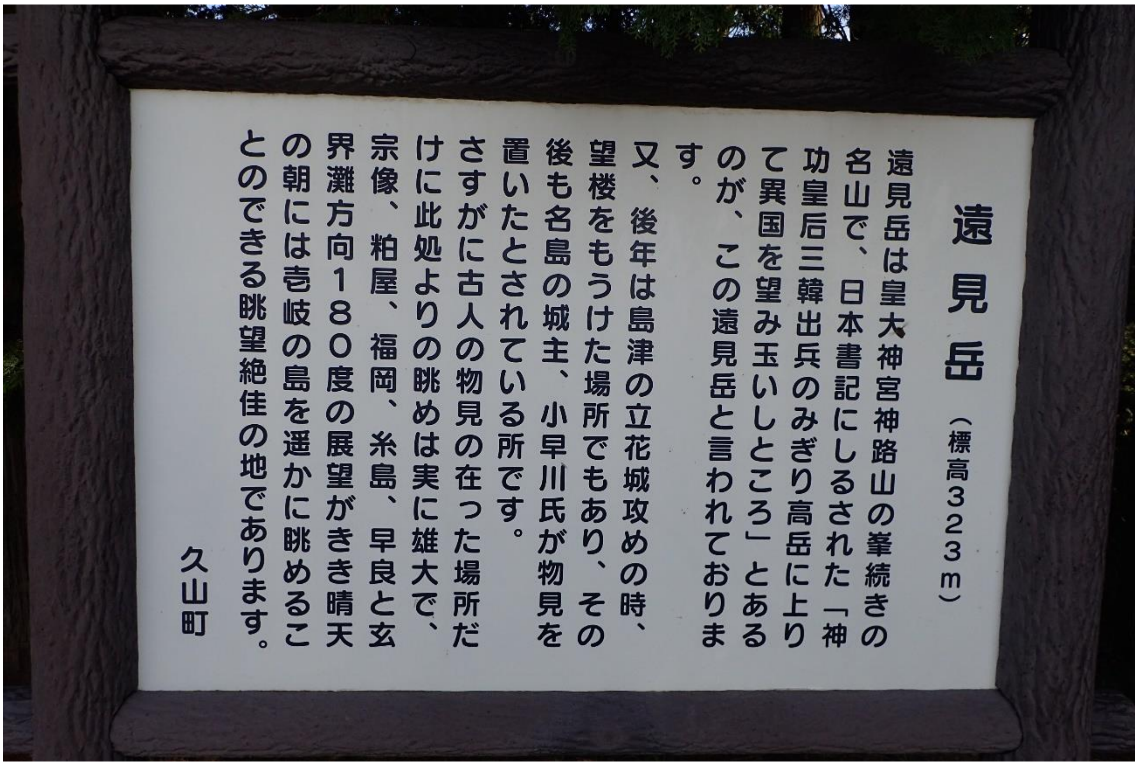
遠見岳(とおみだけ)山頂碑　323m

180 度の方位版

眼下の久山町を望む（トリアス久山などが確認できた）

すぐ近くの立花山も目に飛び込んでくる

山頂にある東屋は老朽化なのか？立入禁止になっていた。



遠見岳の説明板

遠見岳は皇大神宮の峯続きの名山で、日本書紀にしるされた「神功皇后三韓出兵のみぎり高岳に上りて異国を望み玉いしところ」とあるのが、この遠見岳と言われております。
又、後年は島津の立花城攻めの時、望楼をもうけた場所でもあり、その後も名島の城主、小早川氏が物見を置いたとされている所です。
さすがに古人の物見の在った場所だけに此処よりの眺めは実に雄大で、宗像、粕谷、福岡、糸島、早良と玄界灘方向180度の展望がきき晴天の朝には壱岐の島を遥かに眺めることのできる眺望絶佳の地であります。　久山町　（説明板より）

三韓征伐（さんかんせいばつ）は、仲哀天皇の后で応神天皇の母である神功皇后が、仲哀天皇の没後新羅に出兵し、朝鮮半島の広い地域（三韓）を服属下においたとする日本における伝承である。経緯は『古事記』『日本書紀』に記載されているが、朝鮮や中国の歴史書や碑文にも関連するかと思われる記事がある。

『日本書紀』では新羅が降伏した後、三韓の残り二国（百済、高句麗）も相次いで日本の支配下に入ったとされるためこの名で呼ばれるが、直接の戦闘が記されているのは対新羅戦だけなので**新羅征伐**と言う場合もある。『古事記』では新羅と百済の服属は語られているが、高句麗の反応は記されず、「三韓」の語も現れない。　（ネット調べ）

歴史はミステリーで興味深い

猪野ダム周辺案内看板

山陽新幹線が走る福岡トンネルの位置が破線で示されている。

三角点

山頂のベンチで昼食休憩後に下山に取り掛かかった　11:44

神路山への分岐　11:56　神路山へ向かう！

神路山(かみじやま)山頂　11:59　272m

これで本日2座目のニューピーク登頂！と紹介したいが、山頂とは言い難い場所だった(笑)
山頂で写真を撮ってすぐに元のルートに戻った

今日の目標をクリアして、往路を調子よく下山

鎖場は足を滑らせないように慎重に進む　12:15　左側の谷は危険！

遠見岳登山口（伊野天照皇大神宮）　12：45　鳥居をくぐり駐車場へ

駐車場　12：48　無事に下山

2時間46分の山歩きが無事に終了。
スマホの歩数計は6926歩。T師匠お世話になりました。お疲れ様でした。

宮若市ヒガンバナまつり

下山後に立ち寄った

犬鳴川沿いに綺麗な彼岸花が咲いていた

たくさんの見物客が楽しんでいた